

# くらき永田保育園便り



一生の思い出になるようなお泊り会と乳児クラスのふれあいデーが無事終了しました。考えてみるとコロナ禍の影響で制限されていた「体験」と「交流」という子どもや家庭にとって大切な時間を取り戻しつつあるのかなと感じています。先日、京都大や筑波大の研究チームがコロナの影響で運動や言語他に平均4.39か月の遅れが見られるというという調査結果が発表されました。調査の総括で「今後の支援で挽回は可能」という言葉を信じて、子どもたちの当たり前の日常を取り戻していきたいと思います。

さて、連日30℃を超える日が続いています。お昼寝時間帯にはスズメ達が園庭の水たまりで水浴びし、また、ミストシャワーの下ではカラスが気持ちよさそうに涼んでいる姿が見られます。人間だけでなくすべての生き物が暑さに対応しているようです。8月は子どもたちも水とたくさん触れ合い、そしていっぱいカラダを動かす季節です。この時期に楽しく遊んだ遊びが運動会にもつながってきますので、「カラダを動かすのが楽しい」と感じる保育を心がけたいと思います。また、8月は職員も交代で研修に参加したり、休暇を取得できるようシフトを組んでいます。そのため、例年通り、園児数に応じて合同保育の形態をとるなど、普段と違った保育室での活動となる日も出てきますのでご了承ください。また、給食の食材発注がありますので、お休みの予定がわかりましたら担任までお知らせください。

昨年に引き続き8月25日(金)に「夏祭りごっこ」を行います。すくすく・異年齢クラスは、甚平または浴衣での登園してもOKな特別な日となります。盆踊りやゲーム、お店屋さんも登場する子どもたちが大好きなイベントの一つです。地域のお祭りも復活してきました。子どもたちもきっと参加するだけでなく、自分たちも参加・参画して、当日だけでなく、そこに至るまでの期間を楽しみたいと思います。

## 《くらき永田保育園の地域福祉》

保育園も地域の資本として機能していかなければならないという要請を受け、昨年度から法人全体で地域福祉の取り組みを始めています。ただ、不必要に保育士の業務負担が高まったり、日常の保育が疎かになっては意味がありません。また、保育園以上に秘匿性の高い乳児院や母子生活支援施設を運営する我々にとって利用者と福祉と地域支援を両立するのは難しいと感じています。そんな中、今取り組んでいるのがステークホルダーマップの作成です。保育園を下支えしてくれている皆さんを書き出してみると、A3の用紙一杯の人たちが登場してきました。あらためて、わたしたちが皆さんに助けられながら保育をしているのだなと再確認しています。次は、その支援者たちとの関係性を向上できないか考えていきたいと思っています。具体的な実践にはまだまだ繋がりませんが、保育園の地域に向けての取り組みがゆっくりと水面下で動き始めています。

# 各クラスの『子どもと地域』をお伝えします！

## にこにこ

にこにこ組には、園の近くに住む職員がいませんが、子ども達が住むこの地域での暮らしを知りたい！ということで、手始めに、近隣を散歩してみました。想像以上の坂道と階段で「荷物も多いにこにこさん、ベビーカーや自転車通園は大変だね」「どンドン歩き始める子ども達との移動も心配だね」「ますます暑くなるし、皆どこに遊びに行くのかな」など、気になることも出てきました！

次に、各ご家庭を地図に記してみると、にこにこの皆さんは、ご近所さん同士の方が多くことがわかりました。小学校の学区が同じ方も多く「長いお付き合いになるね！」「ご近所で仲良く大きくなってくれるとよいね！」など、職員で盛り上がりました。

皆さんは、この地域での生活をどのように感じていらっしゃるのでしょうか。くらき永田保育園では、卒園後も子どもだけでなく保護者もフラッと顔をだしてくれる風土があります。これからも楽しかったこと、大変なことなど教えて頂きながら、子ども達の生活を想像し、成長を一緒に見守っていきたいです！



## よちよち

保護者の方々とのやり取りのツールとして使用している電子連絡帳。私たち保育士が楽しみにしていることは子どもが何をして過ごしていたか週末にどこへ出かけたかを知ることです。公園へ出かけた！と書いてあると、“以前クラス懇談会でお話をしていた〇〇公園に行ったのかな”などと考えています。子どもに「公園で遊んだのは楽しかった？」と質問をすると笑顔で頷いてくれたり「うん！」と言ってくれたりする姿も見られます。また、週末に動物園や外食へ出かけたというご家庭があると子どもの興味をさらに広げられるように関連している絵本を読んだり、遊びの中（例：動物の出てくるわらべうたを行う等）に取り入れたりして家庭と園の繋がりを持てるようにしています。先月のふれあいデーでお話する機会がありましたが、まだまだ私たちはみなさんのご家庭での様子を知りたいのでオススメのスポットなどがありましたらぜひ教えてください。そのお話は私たち保育士だけで共有するのはもったいないと思っているので他の保護者の方々にも何らかの形で発信していきたいと思っています。楽しみにお待ちしております！

## すくすく

『子どもの言葉から見えてきた地域での生活』

話すことが大好きなすくすく組の子どもたち。月曜日には「〇〇ちゃんと公園で会ったよ」「〇〇くんと遊んだよ」など土日にあった様々な出来事を、金曜日には「公園に行ったら〇〇ちゃん、〇〇くんに会うかな?」「〇〇くん、いるかな?」とお休みの日を楽しみにしている様子を話してくれています。保護者の方々が、家庭での様子を書いてくれる電子連絡帳を見ると同じ内容で、保育士もその時の光景が目に見え、嬉しうし楽しいです♪(その場に一緒に居るかのよう)

そんな一所懸命に伝えてくれている子どもたちの声を聴いていると保育園以外での交流の大切さを改めて感じる事が出来ます。



## 異年齢



いきいき組が中心となり行った梅ジュース屋さん立派な地域活動です。

そしてコロナ規制が緩和された今年度は、当日にたくさんの方に来ていただくことも出来ました。卒園児や地域の方にも来て頂き、皆さまの集う場所にもなったと感じています。日頃あまり関わる事のない保護者の方々もジュースを飲みながら会話を楽しむ姿も見られました。子どもたちは沢山のお客様に対応しなければならず「忙しかった～」と言っていました、とても嬉しそうにしていました。ジュース屋さんをした事で身近な人々に喜んでもらった体験は子どもたちの自信にも繋がったのではないかと思います。

これからも子どもたち自らが社会の一員として地域に働きかけ、そのことで『人が笑顔になる』体験を通して、参加する事の楽しさを感じられるようにしていきたいです。



# 給食室

厳しい暑さが続いていますね。

夏は体力の消耗が激しい季節、食欲も減退しがちです。

そこで、食欲のない日でもさっぱり食べられる、保育園のレシピを紹介します。

〈きゅうりとわかめの酢の物〉

ちくわが入ることので食感にも変化があり、暑い日におすすめの1品です。

材料 4人分

- ・きゅうり 1本
- ・わかめ 4g
- ・ちくわ 2本
- ☆砂糖 15g
- ☆塩 少々
- ☆お酢 20g

作り方

- ①☆の調味料を合わせ、甘酢を作る。
- ②わかめは水に浸けて戻し、  
水気を絞って食べやすい大きさに切る。
- ③きゅうりは薄い小口切り、  
ちくわは3mm幅の輪切りにする。
- ④ボウルに②と③を合わせ①を加えて、  
よく和えたら完成！

※保育園では、きゅうり・わかめ・ちくわはサッと茹でてから作っています。

夏はまだまだこれから。元気に過ごすためにも、バランスのとれた食事と、よく休み、よく眠ることを心がけましょう！

## 遊言育係より

◇7月に遊言育係で絵本の買い出しに行きました。今回は「夏」をテーマに、それぞれのクラスの子どもたちが今興味や関心のあるものを探してきました。絵本を選びながら子どもたちの様子を思い浮かべて、実際にページをめくり、楽しんでくれるといいなと相談しながら購入しました。絵本の貸し出しコーナーに並んでいますので、是非お子さんと探してみてください！



購入した絵本『ぱかつ』『どうぶつさんこんにちは』『はなびドーン』  
『あついあつい』『いっばいやさいさん』『のりものなあにかな』  
『だんごむしさんみつけたよ』『おいしい魚ずかん』

◇地域の方に向けた親子の玩具体験会『親子でToy活』第2弾の開催を9月に予定しています！  
只今準備中、決まり次第お知らせ致します。

◇毎月、久保先生に教えていただいている『わらべうた』。季節にちなんだもの、お友だちと一緒にあそべるもの、ふれあい遊びができるもの、クラスによって遊び方のバリエーションを変えたもの……。今の言葉とちょっと違うことばも伝承遊びである『わらべうた』ならではの。

普段よく子どもたちが歌って楽しんでいる『わらべうた』をこれから動画配信していきます。動画を見ながらおうちでお子さんと一緒に楽しんでみたり、保育園で遊んでいる『わらべうた』の話をお子さんとしてみてはいかがでしょうか。詳しくはCoNnectでお知らせ致します！



## 今月の行事

- |        |        |
|--------|--------|
| 4日(金)  | 水フェス①  |
| 10日(木) | 水フェス②  |
| 11日(金) | 山の日    |
| 12日(土) | 布団乾燥   |
| 25日(金) | 夏祭りごっこ |
| 30日(水) | 水フェス③  |